

# プレゼンテーション型

プレゼンテーション + 個人面談 + 書類審査

【配点】 プレゼンテーション (3～10分 / 80点満点) 個人面談 (10～17分 / 100点満点) 書類審査 (20点満点)

## 受験までにすること

- ① 自宅や学校等で、プレゼンテーション資料（パワーポイントやポスター）を作成する。
- ② 『パワーポイント発表』は発表資料を印刷し、エントリー書類とともに提出する。  
『ポスター発表』のポスターはエントリー時に提出不要。
- ③ 大学でプレゼンテーションをした後、『個人面談』を受験する。

## 出願許可後にすること

- ① インターネット出願サイトから出願登録を行う。
- ② 入学検定料を振り込み『出願書類』を印刷する。
- ③ 在籍校発行の『調査書』とともに出願書類を提出する。



## プレゼンテーション

高校での経験がそのまま活かせる

### ■ プレゼンテーションについて

- ・担当教員2名に対し、立った状態で3分以上10分以内の時間で発表をします。
- ・発表の内容は、高等学校の「総合的な探究の時間」での探究活動や、課外活動など個人で行った探究活動、自らテーマを設定し情報収集するなど自由です。
- ・怪我や体調不良など特別な事情がある場合は着席して発表できますので、担当教員に申し出てください。

### ■ プレゼンテーションの評価について

探究を行った方法やその結果を、自分の言葉で伝えることができるかという点について評価します。また、プレゼンテーションの後、続けて行う個人面談での質疑応答も評価の対象とします。

### ■ プレゼンテーションの方法

次の①②のうち、自分に合った方法で行ってください。

#### ① パワーポイント発表

パワーポイントをスクリーンに投影し発表します。

- ・パソコンの持参はできません。USBメモリにデータを保存し持参してください。
- ・パワーポイントリモコンやポインターを持参し、使用することは可能です。
- ・効果音や音楽を流すことはできません。
- ・画面サイズは16:9または4:3のいずれでも構いません。

【試験会場に用意しているもの】

- スクリーン
- パソコン (Windows)
- マウス

#### 【資料の印刷について】

- ・プレゼンテーションで使用するパワーポイントは、A4用紙に2部印刷しエントリー時に提出してください。
- ・片面に印刷するスライドは2スライドまでにしてください。
- ・色を使って見やすく工夫している場合は、カラーで印刷してください。

#### ② ポスター発表

黒板等にポスターを掲示して発表します。

- ・一般的な模造紙サイズ(横788mm×縦1091mm)程度で作成してください。
- ・ポスターは試験当日持参するだけで、事前に提出する必要はありません。
- ・ポインター(指示棒)を使用することは可能です。

【試験会場に用意しているもの】

- 黒板またはホワイトボード
- マグネット

## 個人面談

対話形式なので落ち着いてできる



面談時間  
発表とあわせて

20分  
程度

### ■ 個人面談について

- ・プレゼンテーション発表終了後、担当教員の指示に従い椅子に着席して面談を行います。
- ・発表の内容についての質問と自己PR書等をもとにした質問を行います。
- ・面談時間は、プレゼンテーションとあわせて20分程度行います。プレゼンテーションが5分間だった場合は、面談の時間は15分程度になるなど、プレゼンテーションの時間により異なります。
- ・対話形式なので、入学に対する熱意・意欲をリラックスしてしっかり伝えてください。
- ・子ども学科の受験生は、びわ学ピアノグレード検定を利用することができます。詳しくは冊子裏面をご覧ください。